



地域おこし協力隊 活動報告

山形市企画調整部文化創造都市課文化財係 今のどか

自己紹介

➤ 自己紹介

- ✓ ミッション:山形市の文化財の保存活用に関するマネジメント
- ✓ 前住所:東京都
- ✓ 着任時期:令和5年6月
- ✓ 好物:さくらんぼ

➤ 山形市に来た理由

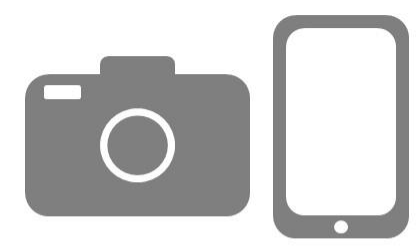
- ✓ 東北に住みたかったから
- ✓ 博物館展示に関わりたと思ったから
- ✓ さくらんぼがたくさん食べられると思ったから

主な活動内容

1. 市郷土館の展示
2. 市郷土館の企画展開催
 - ① 新収蔵品展:『令和5年度山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展
～山形藩水野氏を読む～』(7～8月)
 - ② 新企画:『古写真で辿る山形 ～写真家・菊地新学の見た世界～』(12
～1月)
3. 山形市郷土館公式SNS運用
4. 文化財調査
5. 東京外国語大学山形スタディツアー

1. 郷土館展示

- 市郷土館の常設展示の更新
- 市郷土館が使用している『重要文化財・旧済生館本館』という建物の魅力を見せる展示
- 来館者との相互的な交流の場を創出する郷土館運営の模索
 - ✓ お絵描きコーナーの設置実験(企画展開催期間中)
 - ✓ めりえコーナーの設置(常設展示期間中)
- バリアフリー・ユニバーサルデザインに向けた取り組み
 - ✓ 子供向けコーナーの設置
 - ✓ 情報の多言語化



BUILDING
建築物

建物の撮影は可能です。
展示物の写真撮影は
ご遠慮ください。

EXHIBITS
展品

Do not take photos of the exhibits.
請勿對展品拍照。



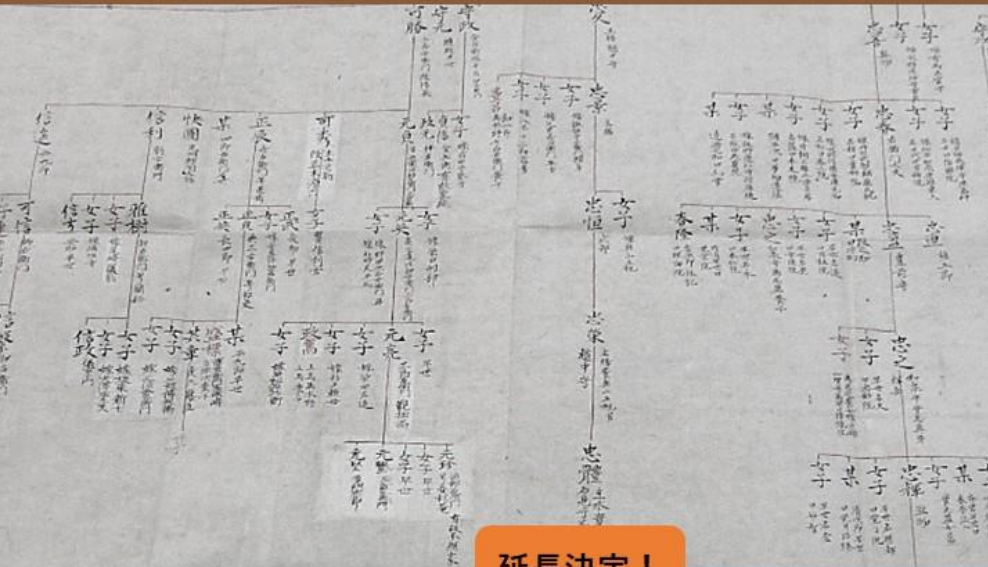
2-①. 新収蔵品展

- 新収蔵品展『令和5年度 山形市郷土館・郷土資料収蔵所 新収蔵品展 ～山形藩水野氏を読む～』の企画・運営
- 市郷土館では、前年度に新たに収蔵した郷土資料を、紹介・展示する新収蔵品展を開催
- 令和5年度は、漆掻き道具と水野家文書を展示
- 漆掻き道具の展示では、全ての漢字にふりがなを用いて、小学校中学年以上の幅広い年代を対象とした
- 水野家文書の展示は、高校生以上を対象として、世界史の中に幕末山形を位置づけた

山形市郷土館・郷土資料収蔵所

新収蔵品展

～山形藩水野氏を読む～



延長決定！

令和5年7月15日(土)～8月20日(日)

8月31日(木)

開館時間 9:00～16:30 (会期中無休)

入場料：無料

会場：山形市郷土館1階ロビー
山形市霞城町1-1 (霞城公園内)

【主催】山形市企画調整部 文化創造都市課 文化財係
TEL: 023-641-1212 (内線: 626・627) FAX: 023-624-9818
E-mail: bunka@city.yamagata-yamagata.lg.jp



山形市郷土館
山形市霞城町1番1号 TEL/FAX 023-644-0253



水野家文書ほか、令和4年度に新たに収蔵した郷土資料をご紹介します。

2-②. 新企画

- 新企画展『古写真で辿る山形 ～写真家・菊地新学の見た世界～』の企画・運営
- 菊地新学とは山形で初めて写真業を営んだ人物であり、明治時代、山形県の御用写真家として初代県令三島通庸の業績を撮影し、後世に残した
- 市郷土館が所蔵する菊地新学の写真全40点を3期にわけてすべて公開
- 県令三島通庸の建設した明治時代の山形の街並みや、明治時代前期の山形県内の様子がわかる写真を市民に公開することを目的とした
- 市郷土館2階の活用実験も兼ね、これ以降の展示方法を考える基礎となった

古写真で辿る山形

～写真家・菊地新学の見た世界～

現・天童市出身で三島通庸の御用写真家となり、多くの写真を残した菊地新学。山形市郷土館所蔵の菊地新学の写真全40点を3期に分けてすべて公開します。明治初期の古写真から、初代県令三島通庸の業績と当時の山形の姿をご覧ください。

会 期 令和5年12月5日～令和6年1月25日
開館時間 9:00～16:30
入 場 料 無料
会 場 山形市郷土館 2階講堂
山形市霞城町1-1(霞城公園内)



明治初期、三島通庸の業績を記録した御用写真家が残した明治山形の街並みと風景。

PARTⅠ:12月5日～12月22日 : 最上・村山・置賜を中心に
PARTⅡ:12月23日～1月12日 : 山形市内建造物
PARTⅢ:1月13日～1月25日 : 庄内を中心に



3. 山形市郷土館公式SNS運用

- 山形市郷土館公式Facebook・Instagramの運用
- 市内外を問わず、観光目的や、歴史的建造物に興味を持つ人、歴史好き等、多くの人に山形市を知ってもらい、市郷土館の取り組みや旧済生館本館について関心を寄せてもらうことを目的とする
- 市郷土館の収蔵品紹介や各種イベント情報、市内文化財に関する情報を発信
- 令和6年1月には、山形城の歴史紹介を全8回のシリーズで投稿
- 企画展の様子や消防訓練の様子も伝える
- Instagramのフォロワー数は200を超えた



山形市郷土館
ナイトミュージアム
2/9開催



山形市文化財成果展



郷土館



文化財成果展、はじまりました！



山形市
文化財
成果展

今年4年間の選定有数の成果や新発見文化財を紹介いたします。

令和6年
1.27(土)・2.29(木)
開催期間：9:00~16:30
会場：山形市郷土館2F展示室
入場料：無料



いいね！27件

yamagatacitylocalhistorymuseum ***文化財紹介***

国指定史跡 山形城跡
2024年新春SP 山形城の歴史 (全8回)

【第二次幕領期から水野氏まで (8/8)】
写真：明治初年の旧山形城二ノ丸東大手門

明和元(1764)年から3年間の幕領期間を経て、明和4(1767)年に秋元涼朝が入部して秋元氏4代による統治の後、弘化2(1845)年に水野忠精が入部、子の忠弘の代に江戸幕府は終焉を迎えます。



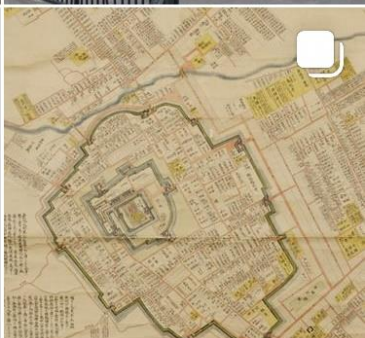
古写真で辿る山形
~写真家・菊地新学の見た世界~

期：天保10年(1839)から明治初年(1868)まで、多くの写真家が残した山形城跡の古写真から、現代まで三島通康の歴史を辿ります。

会 期 令和5年12月5日~令和6年1月12日
開館時間 9:00~16:30
入 場 料 無料
会 場 山形市郷土館 2階講堂 山形市霞城町 霞城公園

明和初期、三島通康の業績を記録した御用写真家が残した明治山形の街並みと風景。

PART I: 12月5日~12月22日 : 最上・村山・置賜を中心に
PART II: 12月23日~1月12日 : 山形市内建造物
PART III: 1月13日~1月22日 : 山形市外建造物



4. 文化財調査

- デジタルアーカイブ作成に向けた郷土資料の写真撮影
- 撮影した写真は、山形大学附属博物館が主催するデジタルアーカイブ『山形アーカイブ』で公開
- 市内在住の個人または団体が所蔵する郷土資料の写真撮影
- 市では、個人蔵の古文書等で申し出のあったものを調査したり、価値ある文化財を保存するための調査を行ったりしている
- 有識者の調査補助
- 撮影した写真の整理

写真

(写真) 山形県済生館

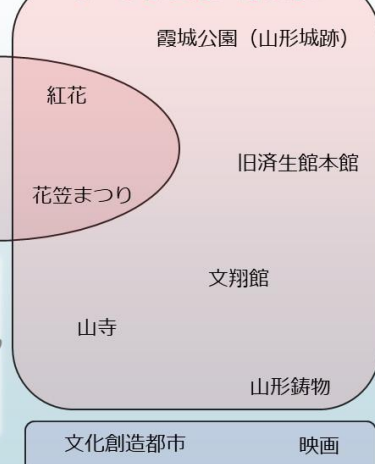
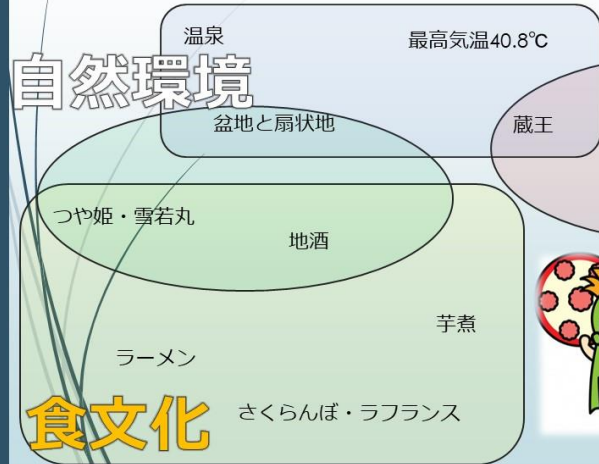


5. 東京外国語大学山形スタディツアー

- 東京外国語大学では学生の休暇期間を利用して、山形を知り各市町村の課題解決を提案するスタディツアーを実施
- 山形市では令和5年度の夏休み期間に初参加し、観光における文化財の活用を課題として提示
- 事前に行われる事前学習では、学生の学習用資料を作成、山形市の概要を説明した
- スタディツアーは4日間かけて行われ、霞城公園や山寺のほか、市内にある文化財建築を中心に回った

文化資源

自然環境



東京外国語大学
山形スタディツアー

山形市
2023.9.4-9.7



山形城三の丸土塁跡 (Yamagata castle San-no-maru)

現代まで姿を残す山形城三の丸の遺構。
山形城の空間的広がりを体感できる。

Memo



旧第一小学校 Q1 (Former elementary school)

昭和2年に竣工した旧第一小学校校舎を利用。
山形初火事に強い鉄筋コンクリート造の校舎。

Memo



なかたち石 (Nakatati-stone)

幕末頃に作られた、掲示板の役割をする石碑。
左面は「たつめる方」、右面は「をしへる方」。

終わりに

以上が令和5年6月に着任してから令和6年3月まで、市郷土館を中心とした文化財保存活用に関する地域おこし協力隊1年目の取り組み紹介です。

令和6年度は、前年度の取り組みを踏まえ、さらに発展した内容で活動できるよう、精進してまいります。